



令和 8年 3月31日

印西市長 藤 代 健 吾 様

(住 所) [REDACTED]
(団 体 名) みんなのいっぽ [REDACTED]
(代表者名) 伊藤 かおり [REDACTED]

業務完了報告書

このことについて、下記のとおり「グリーンカーテンでゼロカーボン事業業務」を完了しましたので報告します。

記

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1. 業務委託名 | グリーンカーテンでゼロカーボン事業業務委託 |
| 2. 契約年月日 | 令和7年4月1日 |
| 3. 開始年月日 | 令和7年4月1日 |
| 4. 完了年月日 | 令和8年3月31日 |
| 5. 備 考 | |

令和7年度 企画提案型協働事業 事業名

グリーンカーテンでゼロカーボン
「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」

事業報告書

令和 8 年 3 月
みんなのいっぽ

目次

- 1 事業概要・・・2P
- 2 活動結果報告・・・3－8P
- 3 活動成果報告・・・10－12P

1 事業概要

本事業の概要について以下に示す。

1.1 事業目的

地球温暖化に対する市民の意識を高める。

1.2 事業期間

令和7年 4月 1日 ～ 令和8年 3月31日

1.3 事業の運営体制

協働事業実施団体:みんなのいっぽ

- イベント実施・普及啓蒙2名(元小学校教員、環境教育団体職員)
 - 苗の育成・参加者の栽培フォロー(農業者)
 - 経理 1 名 ・事務・SNS等の運営1名
- 【協力団体】みんなのおにわ(森のようちえん)

1.4 事業内容

- グリーンカーテンを使用した地球温暖化防止対策を市民に普及啓発
- ゴーヤなどの種を苗に育成、配布

1.5 定期報告に関する記録

本事業では、随時事業の進捗状況及び実績を、メール等で報告・情報交換した。詳細な報告内容等については、別添1 事業報告書(様式1)および打合せ記録簿(様式2)にて示す。

2 活動結果報告

本事業では、協働の機会提案の中で、以下6点について実施することを提案した。各提案に関する活動結果について報告する。

<活動内容一覧>

- ①魅力あるグリーンカーテン苗の育成
(ゴーヤ、ホップ、パッションフルーツ、ホップ、バタフライピーなど)
- ②公共機関でのグリーンカーテン設置による市の環境活動 PR
- ③小学校での出前環境授業によるグリーンカーテン普及啓もう
- ④市内事業者との連携イベントによる普及啓もう(商業施設、種苗販売店)
- ⑤SNS・HPなどを活用したグリーンカーテンのPR、情報提供
- ⑥グリーンカーテンコンテストのオンラインエントリーの拡充による参加促進

2.1 魅力あるグリーンカーテン苗の育成

グリーンカーテンの設置については栽培の難しさが大きな課題となっていたことから、今年度は、苗による配布も積極的に行った。苗づくりについてはメンバーである市内栽培農家が担当し、苗配布後も栽培情報などを適切な時期に情報を提供しながら、市民へのグリーンカーテンチャレンジを支援した。

本事業では、「パッションフルーツ」「ホップ」「ゴーヤ」の3種類をグリーンカーテンの苗として選定して、普及活動を進めた。それぞれの写真を以下に示す。

図1 各種グリーンカーテン苗



2.2 公共機関や小学校でのグリーンカーテン設置による市の環境活動 PR

今年度は、以下の施設でグリーンカーテンを設置し、市の環境活動を PR した。また、市内各所の公共機関において種や苗の配布を実施し、グリーンカーテンコンテストの PR を行うこととした。

表1 グリーンカーテン設置場所一覧

NO	施設名
1	サザンプラザ
2	牧の原小学校
3	原小学校
4	小倉台小学校
5	かぐろ杜の保育園
6	西の原小第二学童

グリーンカーテン例

小倉台小学校	牧の原小学校	サザンプラザ
		

表2 種配布施設・配布数一覧

NO	施設名	配布数
1	中央交流館1号館	110袋
2	中央交流館2号館(市民活動推進センター)	120袋
3	船穂コミュニティセンター	70袋
4	印西市役所ロビー	150袋
5	印旛支所	90袋
6	本埜支所	90袋
7	サザンプラザ	110袋
8	草深公民館	80袋

2. 3小学校での出前環境授業によるグリーンカーテン普及啓もう

本事業では、グリーンカーテン普及啓蒙のため、小学校での出前環境授業を行った。今年度は、印西市立原小学校と牧の原小学校、小倉台小学校の協力により、4年生(対象者約 500 名)に対して出張授業を行った。出張授業の内容を以下に示す。

図3 牧の原小学校における授業内容

形式	授業内容	授業の様子
地球温暖化について 座学	・地球温暖化の原因 ・地球温暖化の現状 ・グリーンカーテンの効果	
地球温暖化に関する 体験ワーク	CO2ワッショイリレー グリーンカーテンで回収できる CO2の重さを運ぶリレーを体験	
グリーンカーテン作り	グリーンカーテンの苗として選 定した「パッションフルーツ」 「ゴーヤ」を学校で育てるため、 花壇に苗を植えた。	

授業を受けた子どもたちの感想

多くの子どもたちが、グリーンカーテンには涼しくする効果や CO₂を吸収して地球温暖化を防ぐ力があることに驚き、自然のすごさを実感してくれました。また、「自分でも育ててみたい」「もっと広めたい」といった前向きな気持ちが感じられました。

主な感想

1. 自然や植物の力への驚き

- CO₂を吸収して酸素を出す働きがすごい
- グリーンカーテンだけで温度が 7℃も下がることに驚いた
- つる性の植物なら野菜以外でもできることが新しい発見

2. 地球温暖化への危機感

- 地球が危険な状態になっていることを知って驚いた
- 異常気象や暑さの原因が CO₂とつながっていると理解した
- CO₂を減らす行動をしたいという意識が高まった

3. 自分も行動したいという前向きな気持ち

- 朝顔などを育ててみたい
- グリーンカーテンを家や地域に広めたい
- 自分にもできることを探してやってみたい
- 電気をこまめに消すなど、身近な行動の大切さに気づいた

4. グリーンカーテン大作戦への共感と応援

- とても良い作戦だと思う
- 地球を守るために協力したい
- 印西市にもっと広がってほしい
- 苗を配ってくれる取り組みがすごい

5. 気持ちの変化や新しい発見

- 植物が苦手だったけど好きになった
- 最初はよく分からなかったけど、意味を知って大切さが分かった
- SDGs につながることを知った
- グリーンカーテンにはいろいろな役割があると理解した

2. 4印西市内のイベントでの苗の配布

- イオン千葉ニュータウン店での環境フェスタで市民に苗を配布。発電チャレンジのワークショップを通して地球温暖化について考えつつ、グリーンカーテンの効果について周知した。

図4 商業施設における PR 及び苗配布の様子



● SNS・HPを活用したグリーンカーテンのPR、情報提供

本事業では SNS を中心としたグリーンカーテンの PR、情報提供を行った。活用した SNS は、「Instagram」「YouTube」「公式 LINE」の3種類である。それぞれの情報提供例を以下に示す。

図7 SNS による PR 情報発信例

Instagram	公式 LINE
 The image shows the Instagram profile of 'inzai.keroline'. The profile picture is a green frog mascot. The bio mentions 'Green Curtain Contest 2025' and 'Inzai Keroline'. There are 17 posts, 164 followers, and 199 following. The posts are a grid of images related to the contest and the mascot.	 The image shows a screenshot of the official LINE chat interface. It features a blue header with the text 'グリーンカーテンコンテスト' and a search bar. Below the header, there are several messages in Japanese, including a welcome message and a message about the contest. At the bottom, there is a green banner with the text 'グリーンカーテンコンテスト' and a green frog mascot.
YouTube	
 The image shows a YouTube video thumbnail. It features a green background with a green frog mascot on the left. On the right, there is a framed photo of a person holding a plant. The text 'グリーンカーテンコンテスト2025 大賞インタビュー' is prominently displayed in the center.	

2.5 グリーンカーテンコンテストのオンラインエントリーの拡充による参加促進

本事業では公式 LINE を活用し、オンラインエントリーを受け付けることにより、参加者の拡充を促進した。オンラインエントリーの受付画面を以下に示す。

図8 公式 LINE によるオンラインエントリー受付画面



また、今年度のグリーンカーテンコンテストの結果については、別添3にて示す。

3 活動成果報告

本事業の目的である「地球温暖化に対する市民の意識を高める」という点に対する活動成果を表す項目として、「グリーンカーテンの種・苗の配布による周知」、「SNS による周知」のふたつから整理することとした。

3.1 グリーンカーテンの種・苗の配布等による周知

グリーンカーテンの普及に向けて、種・苗の配布を行った結果について、活動成果のひとつとして報告する。また、その他、イベントにおける市の環境活動 PR についての成果としてチラシ等の配布数を報告する。

表2 種配布施設・配布数一覧

NO	施設名	配布数
1	中央交流館1号館	110袋
2	中央交流館2号館(市民活動推進センター)	120袋
3	船穂コミュニティセンター	70袋
4	印西市役所ロビー	150袋
5	印旛支所	90袋
6	本埜支所	90袋
7	サザンプラザ	110袋
8	草深公民館	80袋

表3 苗配布数一覧

実施日時	配布イベント名	参加者数	配布数	参考:「2 本事業における活動結果報告」における対応項目
4月26日	みんなのおにわ自然体験	40名	30苗	2.4
5月3日		20名	10苗	//
5月9日	牧の原小学校出張授業	167名	110苗	2.3
5月21日	小倉台小学校出張授業	150名	79苗	2.
5月28日	原小学校出張授業	180名	94苗	2.3
6月8日	環境フェスタ	300 名	255 苗	2.4
6月	サザンプラザ		30苗	2.2
6月	かぐろ杜の保育園	—	30苗	2.2
随時	スタッフによる苗配布	—	30苗	2.5

表4 イベントにおけるチラシ等の配布数一覧

実施日時	配布イベント名	配布物	配布数	参考:「2 本事業における活動結果報告」における対応項目
5月9日	牧の原小出前授業	チラシ	180枚	2.3
5月21日	小倉台小出前授業	チラシ	160枚	2.3
5月28日	原小出前授業	チラシ	200 枚	2.3
6月8日	環境フェスタ	チラシ	255 枚	2.4
8 月	スタッフによるチラシポスティング	チラシ	713枚	随時配布

3.2 SNS による周知

本事業において、グリーンカーテンの普及を通じて地球温暖化に対する市民の意識を高めた、という点を評価する方法として、SNS による周知の視点から活動成果を整理した。SNS による周知について「公式 SNS 登録者数」、「コンテスト応募数」の結果を以下に示す。

図9 公式 SNS 登録者数

公式 LINE	公式 Instagram
登録者数293人(前年188人)	フォロワー数494(昨年321)
	

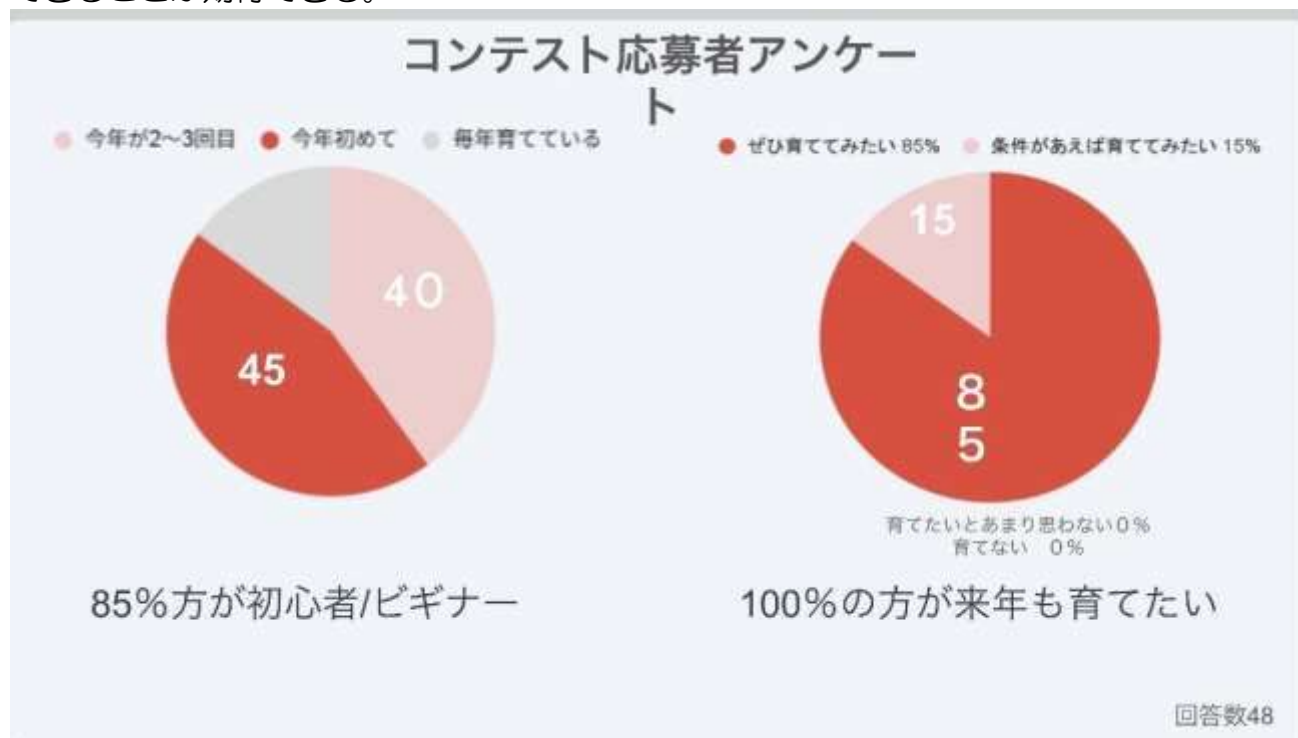
図 10 グリーンカーテンコンテスト応募者数(過年度数との比較図)

毎年着実に応募者が増えている。さらに拡大していけるよう来年度は、市の広報や公式 X などからも応募者を募る取り組みに力を入れていく。



図11 コンテスト応募者アンケート結果

アンケートによると、多くの初心者の方が本取り組みに参加していることがわかった。市のイベントのみならず、SNS などを活用していることで、本取り組みが新しい市民のみなさんに広がっていくことが期待できる。さらに、100%の方が「来年も育てたい」と回答。本取り組みを通して、環境問題への意識向上や自然と親しむきっかけづくりを創出できることが期待できる。



以上

ゼロカーボンシティ宣言 印西市協働事業

グリーンカーテン大作戦 2025

コンテスト大賞



印西米 10kg

チャレンジ賞



タンブラー、トートバックなど
いんざい君グッズ

夏休みの宿題・ガーデニングにもぴったり♪

家族で楽しむエコな夏 オンラインで簡単スタート



LINE

公式ライン友だち追加で！苗とエントリー情報ゲット！！

- ▶ 市内の公共施設で種と苗の無料配布
・ゴーヤ、アサガオ
・バタフライピー・ホップなど
- ▶ グリーンカーテンの育て方情報
- ▶ 簡単オンラインエントリー



コンテスト
応募ページ

LINE

公式ライン



応募締切

9月29日(月)

応募用紙は
裏面へ



@INZAI.KEROLINE



<https://inzai-greenproject.com/>



グリーンカーテンプロジェクト
実施団 提案6の14 いっぱ

✉ minnano1po@gmail.com

フリガナ		
氏名または事業所（団体）名		
設置場所 例）印西市本埜		
連絡先	電話番号	
	e-mail	
グリーンカーテンのテーマ ／タイトル (コンテストの選考基準となります)	例) the green monster、快適なゴーヤカーテン！ など	
グリーンカーテンを作ってみた感想 (節電効果や体感で感じる効果、作ってみて大変だったことなどをご記入ください)		
あなたのグリーンカーテンのPRポイント (創意工夫した点、設置のポイントなど自由にご記入ください)		

ご記載いただいた個人情報は、グリーンカーテン以外の目的には使用いたしません。

 応募資格

令和7年度夏季、印西市内において、個人、事業所及び団体で、ツル性植物による「グリーンカーテン」を設置している者。(一世帯一作品の提出が可能です)

 応募方法

- オンライン応募のほか、印刷したものを提出する場合は上記の応募用紙に必要事項を記入し、設置状況の写真(用紙にカラープリント／3枚まで。1枚は全体がわかるもの)を添えて提出してください。
- 市役所環境保全課まで直接持参または郵送で提出してください。

 応募上の注意点補足

応募書類等(写真を含む)は原則返却しません。応募に要する経費は応募者の負担となります。

 問合せ先

グリーンカーテンプロジェクト実施団体「みんなのいっぽ」  minnano1po@gmail.com

オンライン応募(エントリー)は表面HPまたは公式LINEからも可能です！



〒270-1396

千葉県印西市大森2364-2

印西市役所 環境保全課 提案6月15日 グリーンカーテン大作戦 行



- ・エントリー名
- ・地区名
- ・テーマ/タイトル
- ・あなたのグリーンカーテンのPRポイント

ちいば

瀬戸

お花がくれる癒しのコロボ

リビング、娘の里帰り出産で使う部屋の西陽を遮る為に、出来るだけ色とりどりの花にチャレンジした。初めて挑戦するバタフライピーにわくわく、晩夏に咲く夜顔にハラハラ、まあまあ出来だと自分を褒めた。1枚目は秋分の日、の早朝、青空でまだ2カ所に夜顔が咲いてくれていて癒された、2枚目はピンクの朝顔とバタフライピーの青のコントラストに癒され、3枚目はどことも知れず咲いた黄色の鶏頭も加わり、トンネル仕立てになったグリーンカーテンの水やりも楽しく癒された。

- ・グリーンカーテンを育ててみた感想

びっしりついた葉に直射日光を遮ってもらえ、効果はあったと思う。夕方水やりをするとまた少し涼感を感じた。今夏は暑すぎで花のつきが悪かったか？カメムシ、カマキリは多かったが蛾の幼虫は少なく虫嫌いの私には幸いだった(笑)

※大賞 お米10キロ



- ・エントリー名
- ・地区名
- ・テーマ/タイトル
- ・あなたのグリーンカーテンのPRポイント

おたん
若萩
ゴーゴーゴーヤガーデン
ぎっしりとゴーヤのカーテンが
でき、見た目も爽やか、室内か
らも見えた目も室温も暑さを和ら
げてくれます。しかも、毎
日10個はゴーヤがとれます。
ゴーヤのフルコースが続ぎ、
ゴーヤ料理のレパートリーも増
えました。ご近所にも、おすす
め料理をお知らせしながらお裾
分け中。今年は、9月までゴーヤ
の収穫が続けます！

- ・グリーンカーテンを育ててみた感想

毎年同じ場所でグリーンカーテ
ンをしているため、土づくりか
ら丁寧に行っています。今年は暑
さが厳しいため、水をしっかりと
とあげました。蚊に噛まれるの
がうれしいですが、お陰で青々と
したグリーンカーテンになりま
した。

※優秀賞 ぬいぐるみキーホルダー



協働の機会提案書(継続提案用)

令和6年9月13日

(あて先)印西市長

(登録者)	登録番号 04 — 007
名称	みんなのいっぽ
所在地	印西市 〇〇〇〇
代表者	伊藤かおり
連絡先	〇〇〇〇
E-mail	〇〇〇〇

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

☐ 自由提案型 ☒ 指定テーマ型

提案事業名	グリーンカーテン大作戦！ 「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」
現状・課題 (前年度の実施を踏 まえた課題)	2050年カーボンニュートラルに向けた世界的な動きの中、印西市は今年ゼロカーボンシティ宣言をした。第三次印西市環境基本計画に基づき市民・事業者・行政が一体となり地球温暖化に向けた取組を推進することが急務となっている。 印西市環境白書によれば印西市民の79.6%が環境問題に関心があると答える一方で「どのような取り組みをすればいいのかわからない」という声が40%に上り、「環境事業を行っていることを知らない」と答えた市民は41%に上っている。このことから環境問題に対する市民の高い意識を活かして、市の環境事業の認知を広め、市民と一体となった環境活動を促進していく必要がある。 令和5年度より印西市との協働事業によるグリーンカーテン大作戦を実施し、様々なカタチで市民にグリーンカーテンを広めると共に、地球温暖化について関心を高めることができた。 原小学校では、地球温暖化・環境問題の出前講座を行い、さらに総合学習の時間で自主学習として取り組み、授業参観で発表までを一連で行えたことで、子どもたち、さらには保護者の環境意識を高めることができた。 今後は、学校での出前講座をより多くの学校で開催していきたい。 これまでの活動を通して、市民のグリーンカーテンの苗を育てる技術についてはさらにサポートが必要であることがわかった。基本的な栽培技術や虫や病害に対する知識が足りず、枯らしてしまうケースが散見された。植物を栽培することを通して身近な自然の素晴らしさや自然環境とのつながりを感じてもらうためにも、栽培に関するフォローを強化していきたい。
提案理由	市民アンケートによると32%の人が「環境事業に取り組む時間がない」と答え、235人が「個人で取り組んでも効果がない」と答えている。このことから、環境意識があまり高くない市民にとってもグリーンカーテンの効果を実感すること、楽しんで参加できることがポイント

	であると言える。 提案内容は苗を配布するだけでなく、参加したくなるインセンティブ、栽培へのハードルを下げる栽培技術情報の提供、自然体験イベント・環境問題を楽しく学べる出前授業などを通しての効果や危機感の共有をすることに重点を置いている。 参加者が増えることで、グリーンカーテンの設置数も増え、市民の環境意識が見える化する中で、参加していない市民にも環境活動を意識してもらうきっかけにつながると考えている。
提案内容 (予算の概算は提案書様式①－４)	グリーンカーテンの普及啓蒙、参加者を増やすには、以下の方法について取り組む必要がある。 1)より活動をひろく周知するための発信方法として、SNS を活用する。 2)環境意識が低い市民の参加を促すため、設置者へのインセンティブになるようなコンテストへの参加特権を設ける。 3)公共施設へのグリーンカーテンの設置 4)学校での出前授業 5)印西市が取り組んでいる環境フェスタやクールシェアなどのイベント、また市民団体の主催するイベントなどに参加して、広く市民に参加機会をPRしていく。
貴団体の特性、協働で実施するメリット	・みんなのいっぽのメンバーには元小学生教師がおり、出前事業などの実施において学校関係者との調整や当日の授業も経験を活かして実施することができる。 ・苗の作成については、農園経営者であるメンバーが技術・経験を活かして取り組むことができる。栽培のポイントや設置のコツなど市民が必要とする正しい栽培情報を SNS で適切に提供することができる。 ・これまで森のようちえんなど他の市民団体、イオンなどの商業施設とも協力しながら活動してきており、これまでの連携をベースに、苗の配布や普及啓蒙を行っていくことができる。
継続実施により得られる効果 (自由提案型は今後の展望も記入)	・学校や市民イベントなど環境意識が高い・低いにかかわらず様々な市民に普及啓蒙を行うことで、広く市民の環境意識を高めることができる。 ・公式ラインやインスタグラムなどの SNS の登録者を継続していくことができるので、一度参加した市民が、毎年参加しやすくなるように情報を提供することができる。

(提案書 様式② 最終審査)

協働事業計画書			
事業名	グリーンカーテンでゼロカーボン 「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」		
事業の目的	地球温暖化に対する市民の意識を高める。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名)自然との共生の実現 (部署名)環境経済部 環境保全課		
事業期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和8年 3月 31日		
	提案者	市	
	・グリーンカーテンを使用した地球温暖化防止対策を市民に普及啓発 ・ゴーヤなどの種を苗に育成、配布 ・出前講座の実施	・広報いんざい及びホームページなどによる普及啓発 ・事業の財源確保 ・グリーンカーテンを設置する公共施設や出前授業を実施する教育機関との事前調整	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	0 円	1,549,760 円	
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	みんなのいっぽ ・イベント実施・普及啓蒙2名(元小学校教員、環境教育団体職員) ・苗の育成・参加者の栽培フォロー(農業者) ・経理1名 ・事務・SNS等の運営1名 【協力団体】みんなのおにわ(森のようちえん)		
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	・これまで活動してきた経験を生かして、地域に貢献し地域内のネットワークを広げる。 ・潜在的な参加者を発掘する。	・省エネルギーの推進。 ・苗の配布や啓蒙活動により栽培経験がなくても、手軽に、楽しく環境によい暮らしを実現できる。 ・環境によい街づくりに貢献できる。	・市民の主体性を引き出すことができる ・若年層、子育て世代など忙しい世帯の参加を促進できる ・運営管理コスト、時間の削減
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	毎月末に事業の進捗状況及び実績を、メール等で報告・情報交換する。		
事業の周知方法	公共施設、学校等へのチラシの配布、SNS の配信、広報いんざい、市ホームページへの掲載等。		
評価の方法 (具体的な目標値)	目標値 公式ライン登録者数・インスタグラムフォロワー合計 前年比 150 人増 コンテスト応募者数 100 件 環境講座・イベント参加者 400 人		
備考	関係団体等・みんなのおにわ、駄菓子屋あめちゃん		
	その他(添付書類等)		

(提案書 様式③ 最終審査)

企画提案型協働事業経費内訳書

無償分を含む総事業費	(金 1,788,252 円)
うち市に負担を求める額(委託費)	金 1,549,760 円

【歳入】

項 目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		1,549,760
提案者が負担する額		0
その他収入		
無償分を含めない合計額		
無償労働力等換算金額	労働力 192,384 円 機材費 41,500 円	(238,492)
無償分を含む総事業費		(1,788,252 円)

【歳出】

項 目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
種代	ゴーヤ 2L 40,000 円、ヘチマ 1,000 粒 11,000 円、バタフライピー100 粒 1,800 円(送料 1,600 円)、パッションフルーツ苗 10 個×5,900 円、ホップ苗各 10 個×800 円	121,400
育苗	1,000 苗×140 円	140,000
種配布用袋	種用の小袋 1,000 枚 53,060 円、ラベルシール印刷 1,000 枚(1 枚 1.8 円)	54,860
種袋詰め	種袋詰め・ラベルはり作業 1026 円/h×2 名×10h	20,520
公共機関への配布	市内5か所公共施設グリーンカーテン運搬・設置・管理サポート 1,026 円/h×2 名×10h×5 箇所＝102,600 円	282,600
	運搬燃料 10,000 円	
	プランター、培土、ネット (5 施設各 20～30 苗)	
	新規プランター2,500 円×20 個、培土・追肥 1,500 円×10 個×5 箇所、ネット 1,800 円×5 個×5 か所	

PR用品	PR パネル作成 A2 パネル 3 枚 4,500 円	78,858
	コンテスト募集用 A3 ポスター 40 枚 24,046 円	
	GCチャレンジ・コンテスト募集チラシ	
	1,000 枚 × 30 円/枚(カラー) = 30,000 円	
	デザイン作成 1,026 円/h × 12h = 12,312	
	持ち帰り用袋等備品 8,000 円	
PR・啓蒙普及 情報提供	質問対応・栽培情報・コンテスト情報発信 (Instagram 画像編集、投稿作成、7か月運用)	104,652
	1,026 円/h × 1 名 × 6h × 7か月 = 43,092 円	
	初心者向け取り付け・栽培・片付け方法情報発信 (youtube 動画 3 本収録編集)	
	1,026 円/h × 2 名 × 10h/1 本 × 3本 = 61,560 円	
GCコンテスト募 集・開催	公式ライン運用 7 カ月システム料	198,292
	5,000 円/月 × 7 カ月 = 35,000 円	
	エルメッセージ運用 5 か月システム料	
	10,780/月 × 5 か月 = 53,900 円	
	※配信数に応じて料金変動するため有料機関が 5 ヵ月と試算	
	システム構築・運用・募集・集計	
	1,026 円 × 1 名 × 10h/1 か月 × 8 ヵ月間 = 82,080 円	
	景品購入 1,000 円相当 × 10 名、5,000 円相当 × 1 名、 合計 15,000 円 郵送手続き 1,026 円/h × 2 名 × 6h = 12,312	
教育施設配布	小学校出前講座 3 回 (1 学年 200 人程度)	252,734
	前日・当日にかかる人件費	
	1,026 円 × 12h × 3 回 × 4 名 = 147,744	
	授業プラン作成および打ち合わせ	
	1,026 円 × 5h × 3 回 = 15,390	
	備品購入・資料作成・苗運搬費用	
	新規プランター 2,500 円 × 8 個、培土・追肥 1,500 円 × 12 袋、ネット 1,800 円 × 12 枚、備品 10,000 × 3	
市民配布	環境フェスタ、大型商業施設イベント等 3 回	100,404
	1,026 円 × 10 時間 × 3 名 = 30,780 円	
	備品・材料費 15,000 × 3 回	
	夏休み自由研究サポート・農園イベントでのチラシ・ 種・苗配布および育て方ガイダンス各 2h × 6 回	
	1,026 円/h × 2 名 × 2h × 6 回	
公共施設での設 置維持管理	学校、支所、市営施設でのグリーンカーテンの設置お よび管理	181,940
	新規プランター 2,500 円 × 8 個、培土・追肥 1,500 円 × 12 袋、ネット 1,800 円 × 12 枚、備品 10,000 × 3	
	1,026 円/h × 3 名 × 6h × 5 日	

イベント保険	市民配布 9 回 × 3 名 × 保険料 500 円/人	13,500
無償分を含めない合計額		1,549,760 円
提案者が負担する	全体の配布プラン作成	(196,992)
無償労働力(A)	1,026 円 × 2 名 × 3 日 × 12h = 73,872 円	
	集合住宅等でのチラシ設置場所確保・設置依頼	
	1,026 円 × 3 名 × 2 日 × 6h = 36,936 円	
	公共施設・事業者への事前連絡	
	1,026 円 × 2 名 × 10h = 20,520 円	
	チラシデザイン・苗タグデザイン打ち合わせ	
	1,026 円 × 2 名 × 8h × 4 日 = 65,664 円	(41,500)
提案者が負担する	苗運搬用軽トラ 5 日 × 5,500 円/1 日 = 27,500 円	
無償機材等(B)	撮影用機器 7 日 × 2,000 円/1 日 = 14,000	(238,492)
無償労働力等換算金額	(A)+(B)	
無償分を含む総事業費		1,788,252

(提案書 様式④ 最終審査)

年間事業スケジュール

実施予定 日	活 動 内 容	参加人数
5月	種配布 SNS でのグリーンカーテンの効果魅力発信 GW イベント等での種、苗配布 SNS 発信 種の育て方 苗の設置の仕方の発信 公共機関等での種及び苗の配布 学校での環境講座と苗配布	GW イベント参加 50 人 一般市民 苗 350 個配布 公共機関 種 1,000 袋配布 苗 100 個配布 小学校 苗 200 個配布 小学校環境講座 受講者 250 人
6月	環境フェスタ・商業施設での苗の配布	環境フェスタ苗 250 配布
7月	SNS 配信 各植物の管理方法適宜配信	商業施設
8月	夏休みイベント・自由研究サポートなどでの意識啓発	イベント参加者 100 名
9月	グリーンカーテンコンテスト応募者募集	コンテスト応募数 100 人
10月	SNS 発信 片づけ方の発信	
11月	グリーンカーテンコンテスト集計	
12月	グリーンカーテンコンテスト結果発表・発信	
1月	事業総括	
2月		
3月	種、苗の選定 土造り 事業報告	